

目 次

会館室 / 版 2 萬

05 野矢三三、三浦一太郎
一 美 田 村 森 道 美
二 志 田 村 森 道 美
三 志 田 村 森 道 美
四 志 田 村 森 道 美
五 志 田 村 森 道 美
六 志 田 村 森 道 美
七 志 田 村 森 道 美
八 志 田 村 森 道 美
九 志 田 村 森 道 美
十 志 田 村 森 道 美

第1部／報告

住区と住区施設のあり方 森村 道美 1
——地域の多様性と生活形態の変化に着目して——
I はじめに——この小論のねらい—— 1
1. テーマをめぐる状況 1
2. 住区施設の整備をめぐる今日的論点 4
II 住区施設整備にかかわる制度創設の経緯と
住区施設設置状況 7
1. 制度創設の経緯と都市の規模別各種施設設置状況 7
2. 東京都23区の各種施設設置状況 12
3. 住区と住区施設の対応(東京・23区の場合) 16
III 東京都大田区を対象とするケース・スタディ 21
1. 大田区に着目する理由 21
2. 住区施設整備の現状と利用状況にみる地域性 28
(1) 児童館 29
(2) 老人いこいの家 32
(3) 青年館 38
3. 新しい施設整備基準 42
IV 結びにかえて 49

第2部／座談会

住みよいまちと施設50

出席者 森村 道美 西山 邦一

高橋 鷹志 小川 信子

司会 日笠 端

I はじめに51

東京都大田区の住区施設計画51

三つの圏域別55

東京・中野区の住区施設計画56

II 住区施設と地域単位57

小学校区は住区単位として意味がある58

児童館の誘致距離60

圏域は柔軟に考えてよい62

地域の条件によって違ってよい63

近隣住区の再評価65

学区で切るか、幹線街路で切るか67

学校の地域への開放と活用69

神戸市の学校開放70

空き教室の活用71

小学校のランチ・ルーム72

III 地域の多様性と施設の内容74

要求の多様化75

施設の複合化を考える76

みずのとうふれあいの家77

複合施設とロビーの効用80

スポーツ施設はまだまだ足りない82

ニーズをいかにしてとらえるか	84
利用者の意識と行動	85
補助金制度の問題点	87
IV 地域社会の変化と住区施設	88
高齢化社会への対応	88
一般施設と福祉施設	89
老人パワーは政治的にも強い	91
青年実業家の朝食会	92
商店街と住区施設	93
葬 祭 場	95
情報化が進むとどうなる	95
福祉行政と情報化	96
情報化と住区施設	97
情報化と人間疎外	98
これからの住区施設のあり方	99
再開発と住区施設	101
V 最後に一言	102
住区施設の計画と実施システム	103
入札制度の問題点	104
子どもの遊び空間をひろげよう	105
区外に土地を求める	107
おわりに	108